

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部

地域への感謝を持ち、 未来へ飛躍！

国際社会と地域社会の発展に貢献する

人材の育成を目的とした鈴鹿大学。

食物栄養学専攻や子ども学専攻など、取得したい

資格に応じた専攻コースが多い鈴鹿大学短期大学部。

地元からの入学者が多く、

卒業後も地元に残って就職する学生が多い、

地域に根付いた高等教育機関です。

短期大学部は今年で創立50周年を迎えますが、

時代に合わせて柔軟に変化し続けています。



短大部は40数年、鈴鹿高校の隣でしたが、2012年に郡山キャンパスに移動しました



鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部がある郡山キャンパス。今年、短期大学部は創立50周年を迎えます

創立50周年を迎えた 鈴鹿大学短期大学部

鈴鹿大学、鈴鹿大学短期大学部を運営する学校法人享栄学園。「誠実に信頼される人」を建学の精神に掲げ、グループ全体として他に3つの高等学校、中学校、幼稚園の運営も手掛けています。

享栄学園の創立は1913年。堀栄二氏がアメリカ留学から帰国し、現在の名古屋市内に「英習字簿記学会」を設立したことが始まりです。その後、1966年に鈴鹿短期大学（家政学科）、1994年に鈴鹿国際大学を開学しました。2012年には鈴鹿短期大学が庄野キャンパスから大学のある郡山キャンパスへ移転。昨年、鈴鹿国際大学の校名が鈴鹿大学に変更されました。

今年には鈴鹿大学短期大学部にとって創立50周年という節目の年。記念誌の発行も予定されるほか、学生が考案した50周年ロゴの完成など、いくつもの50周年事業を計画しています。



鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部学長 市野聖治さん（左）と副学長・教授川又俊則さん（右）

目玉となるのが11月3日（木・祝）の記念式典での講演会。当日は鈴鹿大学短期大学部の名誉学長の佐治晴夫氏の講演が行われます。宇宙物理学者である佐治氏ならではの、「宇宙」と「教育」に関する講演会は一

地域への情報発信を 目的にした公開講座

50周年事業のテーマは「思いつながら、未来ひろがる」。これまで約8000人を超える卒業生を世に送り出してきた鈴鹿大学短期大学部があるのも、鈴鹿市や三重県をはじめ地域社会の支えがあつてこそ。地域への感謝の気持ちを持ち、記念事業を展開していきます。

毎年行っている公開講座も、50周年を意識し幅広いラインアップが予定されています。6月4日（土）の「こども教育学」というテーマに関する講演のほか、食物栄養学の先生全員が携わる「クッキング講座」、高い人気を誇る「パン講座」もあります。

公開講座は大学の専門性を地域に発信するという使命から開講し、全ての教員が専門領域について情報発信するよう努めています。講演内容も地域のニーズを吸い上げて、大学の自己満足にならないよう工夫。広く地域の一般の人が楽しく参加できる内容を心掛けています。「近年、日本でも社会人などの既卒者が大学や短大で学び直すケースが増えています。公開講座で興味を持ったら、公開授業に足を運んでもらうなど、

大学・短期大学部を知るきっかけにしてもらえたら」と市野聖治学長が公開講座の狙いを話します。

人口流出が多い三重県 大学の新たな試みに期待

享栄学園では、短期大学部の一部コースを鈴鹿大学内に設置認可申請中です。教員養成機関として、学ぶ期間を増やし、幅広い知識と確かな実践力の要求に応え、実力ある養護教諭・幼稚園教諭を育成します。

こうした教学改革の背景には県が抱える問題もあります。三重県は18歳人口の流出が非常に多く、高卒で

大学に進んだ学生のうち、県内大学に進学するのはわずか18%。残り82%は県外の大学に進学します。現在、三重県北に幼稚園教諭の資格取得を目指す4年制大学はありません。

「いまはこの高等教育機関も、一年ごとに変化していかないと生き残ることができない時代です。享栄学園の新しい試みが、人口流出という三重県全体の問題を少しでも解消することができれば」と学長は話します。

また昨年度、短期大学部では三重県から事業を委託され、「放課後児童支援員」と「子育て支援員」の研修事業を行いました。201

4年4月から、民間資格の放課後児童指導員の取得が可能になりました。その授業内容をベースにより発展させた研修を実施。こども学と養護教育学の教員が先頭に立ち、専門資格に必要な知識・技能を提供し、小学生の放課後を守る支援員を養成。これまでの保育士や養護教諭、栄養教諭、音楽療法士に

続き、放課後児童指導員の養成を通して、地域の子育てに貢献できる体制を整えています。さらに5月から地域への子育て支援として、未就学児の親を対象にした「すずたん広場」を開催。短期大学部1

階の「ほっとルーム」で子育て相談を受けたり、友人作りの場として活用できます。

鈴鹿大学でも昨年度、「三重県高等教育機関魅力向上支援補助金」に事業採択され、ビジネス・イノベーション研究センターを設立。3月12日に地方創生、起業、人材育成をテーマにしたシンポジウムを催しました。同様の取り組みは今年度も継続していきます。

鈴鹿大学、鈴鹿大学短期大学部とも、高等教育機関に求められるニーズを掴み、これからの挑戦と変化を続けていくでしょう。



1 鈴鹿大学短期大学部創立50周年のロゴマーク 2 子育て中の方なら誰でも気軽に参加できる子育て支援「すずたん広場」 3 公開講座で最も人気がある「手作りパン教室」。誰でも気軽に参加できます 4 普段は料理に不慣れな男性に向けた「おとこの料理教室」も好評です

Information 子育て支援 すずたん広場

開催日 5、6、7月の火・水曜日
時間 9時45分～11時30分
内容 手遊び、絵本の読み聞かせ、パネルシアターなど
会場 鈴鹿大学短期大学部 1F ほっとルーム
参加費 1組 500円（親子の保険料含む）

公開講座・ライフセミナー
（テーマ）人間讃歌の健康教育をめざして
（開催日）6月4日（土）
（時間）13時～15時
（講師）聖カタリナ大学教授 山本万喜雄さん
（テーマ）インバウンドにおける地方都市の魅力を探る
（開催日）7月2日（土）
（時間）13時～15時
（講師）鈴鹿大学講師 郭 育仁さん
公開講座はすべて 会場：鈴鹿大学国際文化ホール 参加費：1000円

全ての問い合わせ先 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 鈴鹿市郡山町663-222 電話番号/059-372-3900(平日9:00～17:00)